

決算書分析のススメ！



決算書の読み方の一つとして、経営指標を用いた分析手法がよく使われます。ここでは代表的な経営指標についてご説明したいと思います。

収益性を示す指標

売上高総利益率（％）

売上高に対する売上総利益の割合を示すものです。

$$\text{算式：売上総利益} \div \text{売上高} \times 100$$

粗利率とも言われ、収益性を判断するための重要な比率です。

売上高営業利益率（％）

売上高に対する営業利益の割合を示すものです。

$$\text{算式：営業利益} \div \text{売上高} \times 100$$

本業の儲けである営業利益をどれだけ獲得したかを示す比率であり、収益性を見るのに最も重要な比率の一つです。

総資本経常利益率（％）

総資本に対する経常利益の割合を示すものです。

$$\text{算式：経常利益} \div \text{総資本} \times 100$$

投下資本が経営活動の結果どれだけの利益を上げたかを示す比率です。



安全性を示す指標

自己資本比率（％）

総資本に対する自己資本の割合を示すものです。

$$\text{算式：自己資本} \div \text{総資本} \times 100$$

返済不要の自己資本が全体の資本調達の何％あるかを示す比率です。

流動比率（％）

流動負債に対する流動資産の割合を示すものです。

$$\text{算式：流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

一年以内に支払義務がある債務と一年以内に資金化される資産の割合であるため、短期的な支払能力を示す比率です。



固定長期適合率（％）

長期資本(自己資本 + 長期借入金)に対する固定資産の割合です。

$$\text{算式：固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{長期借入金}) \times 100$$

固定資産に投資した資金が長期資金でどれだけまかなわれているかを示す比率です。



効率性を示す指標

総資本回転率（回）

総資本に対する売上高の割合を示すものです。

$$\text{算式：売上高} \div \text{総資本}$$

効率的な投下資本の活用が出来ているかを示す比率です。

売上債権回転期間（月）

売上高に対する売上債権の割合を示すものです。

$$\text{算式：売上債権} \div (\text{売上高} \div 12)$$

商品を販売してから売上債権が回収されるまでの期間を示す比率です。

棚卸資産回転期間（月）

売上高に対する棚卸資産の割合を示すものです。

$$\text{算式：棚卸資産} \div (\text{売上高} \div 12)$$

商品を仕入れてから販売されるまでの期間を示す比率です。



自社の決算書の数字を当てはめて上記の指標を出してみますと、会社の状況が見えてくると思います。

業種や会社規模によって指標の適正値は異なりますので、同業他社の数値と比べて自社がどの程度の位置付けなのかを見ってみるのが経営指標による決算書分析の有効な方法です。

会社の現状を把握するために決算書の分析をしてみてもいいでしょうか。

